

(2019 年度分)

<p>団体名</p>	<p>社会福祉法人 月の輪学院</p>		
			
			

①目的や動機

社会福祉法人月の輪学院は、①福祉型障害児入所施設（定員 45 名）、②障害者グループホーム（5 ホーム、定員 28 名）、③認知症高齢者グループホーム（1 ホーム 定員 9 名）の施設があり、これら施設の利用者の中には高齢で体力が弱かったり、病気を持っていたり、社会適応がうまくいかず不安定なこころの状態で生活していたり、体力が弱い方が多くおられます。そのため当法人は、施設の利用者の命を護るための様々な対応が求められており、その一つとして AED の導入を決めました。また、地域貢献として AED を地域の方に紹介していくことも必要だと考え導入を考えました。

②活動の実施方法や内容

法人の全職員が緊急な場合に AED を使って救命に活用できるようにするため、年 1 回は AED の使用訓練で経験すること及び AED についての基礎知識を得られるように企画しました。

併せて、セコムとリース契約を結び、平成 28 年 9 月より月の輪学院内に AED を設置しました。

③活動で得られた成果

AED を導入し、使用したという経験をする中で、命の大切さや危機意識の醸成に貢献できたのではないかと感じています。また、一番大きかったことは、緊急な場合は、救急車が到着する前の救命措置が命を救う大きな手段であることを職員の意識の中に浸透していったことだと思います。また、当施設に設置している AED を緊急な場合、地域に貸し出すこと、地域の人が AED を必要となった場合、当法人の職員が支援してすることも職員間で話し合っています。これからは施設の避難訓練の時に AED を使用する訓練を行いたいと思っています。